



VOLVO CAR JAPAN

Press Release

2018年11月28日

ボルボ・カーズとルミナー社、Automobility LAで 画期的な自動運転技術を展示

本プレスリリースは、11月27日スウェーデン本社発、プレスリリースの翻訳版です

ボルボ・カーズと自動運転車用コア・センシング・テクノロジーを開発するスタートアップ企業のルミナー社は2018年11月26日から29日にロサンゼルスで開催される『Automobility LA（オートモビリティLA）』に、最先端のライダー・センサーおよび認知機能を展示します。

パルスレーザー信号を利用して物体を検出するライダー（LiDAR: Light Detection And Ranging）技術の開発は、安全な自動運転車にとって極めて重要です。ライダー・センサーは、自動運転車に信頼性の高い長距離認知機能を提供し、複雑な交通環境や高速走行時にも安全に誘導できるようにするためのものです。

今年に公開した「360c コンセプト」で示したように、ライダーなどの技術は、自動運転に対するボルボ・カーズのビジョンを実現するのに役立ちます。高度なライダー技術および認知機能の開発は、ボルボ・カーズとパートナー企業が完全自動運転車を安全に導入するための取組みのひとつです。

ルミナー社がボルボ・カーズと提携して開発した新しい認知機能は、このタイプのセンサーではこれまで実現できなかった腕や脚などの部位を含めた人間の姿勢をより詳細に検知できます。この新技術は最大 250メートルの範囲で物体を検出することもでき、現在利用可能なライダー技術よりもはるかに広い範囲に対応できます。

「自動運転技術は、人間が運転する限界を超越して新しいレベルの安全をもたらします。これにより安全性は向上し、ボルボが自動運転を先導するメーカーであることを証明します。こうした技術は、最終的には顧客や社会全体に新たな利点をもたらすことになるでしょう。ルミナー社とボルボ・カーズは、こうした利点を実現する目標を共有しています。この新しい認知技術は、その過程における次なる重要なステップとなります。」と、ボルボ・カーズ研究開発担当上級副社長のヘンリック・グリーンは語っています。

「ボルボ・カーズの研究開発チームは、自動運転の開発における最も高度な問題を解決するため、目覚ましいスピードで活動しています。当社の開発環境が拡大することで、彼らはドライバーを運転から解放する自動運転システムの開発の最前線を担い続け、最終的に消費者向けの車両に搭載することができます。」と、ルミナー社の創設者で最高経営責任者（CEO）のオースティン・ラッセル氏はコメントしています。

報道関係お問い合わせ先
ボルボ・カー・ジャパン 広報部
Email : vcjpr@volvocars.com TEL : 03-5404-8611(代表)

今年初め、ボルボ・カーズは、技術革新の可能性の高い新興企業を対象にした投資ファンド「ボルボ・カーズ・テック・ファンド」を通じてルミナー社に出資しました。これはテック・ファンドの最初の投資であり、ボルボ車に搭載するセンサー技術の開発とテストを共同で行うルミナー社との協力関係をさらに深めました。ボルボ・カーズは、ルミナー社のパートナーで初めて、拡張認知機能の開発プラットフォームを十分に活用することができる企業となりました。

ボルボ・カーズは今年9月、自動化、電動化、コネクテッド、安全性を確保した将来の全体像を示す「360cコンセプト」を発表しました。このコンセプトでは、自動運転車の4つの使い方として「睡眠できる環境」、「動くオフィス」、「リビングルーム」、「エンターテインメントスペース」をイメージし、人々の旅の姿を再定義しています。また、自動運転車が他のすべての道路利用者と安全に対話を図れるようにするためのグローバルスタンダードの導入についても提唱しています。

今年のオートモビリティ LA では、360c とボルボ・カーズの自動運転のビジョンを示す特別なバーチャルリアリティの展示をします。